

令和5年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和4年度事業対象)

令和5年11月  
石垣市教育委員会



## 石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和 4 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関し石垣市教育委員会が認めた学識等の経験を有する者の意見を付して報告します。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
令和4年度 教育委員会活動状況一覧表	3
令和4年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	10
令和5年度 教育事務（令和4年度事業）点検評価結果一覧表	10
大濱信泉記念館指定管理者制度	11
学校給食事業	12
児童生徒派遣費助成事業	13
学校図書館図書整備費	14
石垣小学校校舎建替事業	15
学校保健特別対策事業	16
GIGA スクール構想推進事業	17
児童生徒の自律支援事業	18
石垣市学校 PCR 検査費用助成事業	19
子ども若者総合相談支援事業	20
椴海古墓群発掘調査事業	21
文化財保護啓発費	22
「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業	23
重要文化財保存修理事業	24
地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システム構築導入事業	25
移動図書館事業	26
調理業務等民間委託業務	27
衛生管理費	28
3 外部評価委員による総評	29
<b>【資料】</b>	
令和4年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	32
令和4年度 石垣市教育委員会組織機構図	33
石垣市教育事務点検評価実施要綱	34

## はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、教育委員会各課等において令和4年度に実施した事業の中から18事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会にて内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

その結果、外部評価委員から18事業中17事業が計画通りに執行されているという評価を受けましたが、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいています。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 石垣市教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	崎山 晃	自 令和4年4月1日 至 令和7年3月31日	
教育長職務代理者	金城 綾子	自 平成29年4月1日 至 令和7年3月31日	
委員	南 和秀	自 平成31年4月1日 至 令和5年3月31日	
委員	浦崎 美紀子	自 令和3年12月19日 至 令和7年12月18日	
委員	新里 裕樹	自 令和3年12月19日 至 令和7年12月18日	

### 石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
入嵩西 義 晴	元石垣市立中学校長
大 嵩 久美子	元石垣市企画部局長

## 1 教育委員会の活動

### (1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月1回程度開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和4年度は定例会11回、臨時会2回の計13回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

### (2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計79件の議案を審議しました。

### (3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・市立小中学校入学式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・市主催行事（市制施行記念式典）

令和4年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会		・各小中学校入学式
5月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会（書面決議）	
6月	・定例会	・市町村教育委員会連合会地区事務局長会議（WEB開催）	
7月	・定例会		
8月	・定例会		
9月	・定例会		
10月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会研修会（那覇市） ・九州都市教育長協議会（鹿児島市）	・教育研究所入所式
11月	・定例会		・学校訪問（崎枝小中） ・学校訪問（石垣中） ・学校訪問（大浜中） ・学校訪問（伊野田小） ・学校訪問（真喜良小）
12月	・定例会 ・臨時会		
1月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（うるま市） ・市町村教育委員会委員・教育長研修会（沖縄市）	・石垣市成人式 ・学校訪問（川原小）
2月	・定例会 ・臨時会		・いしがき教育の日（講演会） ・学校訪問（吉原小） ・学校訪問（伊原間中）
3月	・臨時会 ・定例会		・教育研究所成果報告会・修了式 ・各小中学校卒業式

令和4年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	11回	69件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する基本的な方針に関すること。</li> <li>・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。</li> <li>・教育委員会事務局、教育機関の人事 (幼稚園、小中学校含む)に関すること。</li> <li>・教育予算に関すること。</li> <li>・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。</li> </ul>
臨時会	3回	8件	
計	14回	77件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回 定例会	4月22日	議案第1号	石垣市教育委員会教育長職務代理者の指名について	承認
		議案第2号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第3号	石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第4号	学校施設使用に関する協定の締結について (名蔵小学校、川平小学校、新川小学校、石垣小学校、平真小学校、八島小学校及び真喜良小学校)	承認
		議案第5号	臨時代理の承認を求めることについて(委託契約に係る議案の議会提出)	承認
第2回 定例会	5月27日	議案第6号	石垣市立八重山博物館資料特別利用要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第7号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(GIGAスクールタブレット端末等導入事業に関する備品)	承認
		議案第8号	令和3年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第9号	学校施設使用に関する協定の締結について (登野城小学校及び真喜良小学校)	承認



第2回 定例会	5月27日	議案第10号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	2人選任
		議案第11号	石垣市文化財審議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第12号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市社会教育委員の委嘱について）	承認
第3回 定例会	6月30日	議案第13号	令和3年度における石垣市立学校等の学期並びに休業日の特例に関する規則の制定について	原案可決
		議案第14号	石垣市立八重山博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第15号	石垣市児童生徒の市外派遣に関するサポート事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第16号	石垣市立小中学校における医療的ケア指導医設置要綱の制定について	原案可決
		議案第17号	石垣市史編集委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第18号	臨時代理の承認を求めることについて（令和2年度石垣市一般会計補正予算（第13号））	承認
		議案第19号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の一部を改正する要綱）	承認
		議案第20号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について）	承認
第4回 定例会	7月28日	議案第21号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第22号	令和4年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	承認
		議案第23号	令和2年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第24号	令和3年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第1号）の承認を求めることについて	承認

第4回 定例会	7月28日	議案第25号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第26号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について（富野中学校））	承認
第5回 定例会	8月30日	議案第27号	石垣市奨学基金条例施行規則等の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第28号	令和3年度石垣市一般会計補正予算（第4号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第29号	学校施設使用に関する協定の締結について（石垣中学校、石垣第二中学校、大浜中学校、白保中学校及び川平中学校）	修正のうえ承認
		議案第30号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第31号	臨時代理の承認を求めることについて（委託契約の一部変更に係る議案の議会提出）	承認
		議案第32号	育鵬社版公民教科用図書の掲載内容による影響への対処を求める請願について	不採択
第6回 定例会	9月24日	議案第33号	石垣市立学校職員のハラスメント防止等に関する指針の承認を求めることについて	承認
		議案第34号	石垣市立学校職員ハラスメント相談員設置要綱の制定について	原案可決
		議案第35号	臨時代理の承認を求めることについて（桃原用昇奨学給付金規則の一部を改正する規則）	承認
第7回 定例会	10月20日	議案第36号	石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第37号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第8回 定例会	11月26日	議案第38号	私立学校法人への助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第39号	学校臨時休業等支援補助事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第40号	史跡フルスト原遺跡保存活用計画策定委員会設置要綱の制定について	修正可決

第8回 定例会	11月26日	議案第41号	令和3年度石垣市一般会計補正予算(第6号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第42号	令和3年度石垣市教育事務点検評価報告書(令和2年度事業対象)の承認を求めることについて	承認
		議案第43号	臨時代理の承認を求めることについて(工事請負契約の変更に伴う議案の議会提出)	承認
		議案第44号	臨時代理の承認を求めることについて(令和3年度石垣市一般会計補正予算(第5号))	承認
第9回 臨時会	12月1日	議案第45号	令和4年度石垣市教育委員会人事異動方針(幼稚園教諭)の承認を求めることについて	承認
		議案第46号	令和4年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	修正のうえ承認
第10回 定例会	12月24日	議案第47号	幼保連携型認定こども園の設置に対する意見について	意義なし
		議案第48号	石垣市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第49号	石垣市医療的ケア児支援事業運営委員会設置要綱の制定について	修正可決
		議案第50号	石垣市立中学校部活動及びスポーツ少年団在り方検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第51号	石垣市教育委員会GIGA端末貸与要綱の制定について	修正可決
		議案第52号	令和3年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第2号)の承認を求めることについて	承認
第11回 定例会	1月28日	議案第53号	いしがき教育の日表彰規程の一部を改正する規程について	修正可決
		議案第54号	臨時代理の承認を求めることについて(令和3年度石垣市一般会計補正予算(第9号))	承認
第12回 臨時会	2月18日	議案第55号	令和4年度県費教職員(管理職を除く)人事異動内申の承認を求めることについて	承認

第12回 臨時会	2月18日	議案第56号	令和4年度県費教職員（管理職）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第13回 定例会	2月25日	議案第57号	石垣市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第58号	石垣市高齢者大学設置要綱の制定について	原案可決
		議案第59号	令和4年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第60号	令和3年度石垣市一般会計補正予算（第10号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第61号	令和4年度石垣市一般会計予算（教育予算）案提出の承認を求めることについて	承認
第14回 臨時会	3月25日	議案第62号	石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第63号	令和4年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	臨時代理の承認を求めることについて（令和4年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭等）定期人事異動の内示）	承認
		議案第65号	臨時代理の承認を求めることについて（令和4年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭を除く）定期人事異動内示）	承認
第15回 定例会	3月30日	議案第66号	令和4年度石垣市立幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第67号	学校施設使用に関する協定の締結について（石垣小学校、野底小学校、伊野田小学校、新川小学校、宮良小学校及び白保小学校）	承認
		議案第68号	桃原用昇奨学給付金規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第69号	桃原用昇奨学給付金奨学生選考委員会規程の一部を改正する規程について	原案可決

第 15 回 定例会	3 月 30 日	議案第 70 号	石垣市公民館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 71 号	石垣市文化会館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 72 号	石垣市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第 73 号	石垣市不登校等対策支援員配置事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第 74 号	学び遊び学級実施委託要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 75 号	石垣市社会教育団体補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 76 号	石垣市立八重山博物館表彰規程の制定について	原案可決
		議案第 77 号	令和 4 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認

## 2 教育事務点検評価

令和5年度 教育事務（令和4年度事業）点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	大濱信泉記念館指定管理者制度			教育総務課	A	A	
2	学校給食事業	○		教育総務課	A	A	
3	児童生徒派遣費助成事業		○	教育総務課	A	A	
4	学校図書館図書整備費（小中）			学務課	A	A	
5	石垣小学校校舎建替事業			学務課	A	A	
6	学校保健特別対策事業			学務課	A	A	
7	GIGAスクール構想推進事業	○		学校教育課	A	A	
8	児童生徒の自律支援事業		○	学校教育課	A	A	
9	石垣市学校PCR検査費用助成事業	○		学校教育課	A	A	
10	子ども若者総合相談支援事業			いきいき学び課	A	A	
11	桴海古墓群発掘調査事業	○		文化財課	A	A	
12	文化財保護啓発費			文化財課	A	A	
13	「市政のあゆみ（平成版）」編集・発刊事業			市史編集課	B	B	
14	重要文化財保存修理事業			博物館	A	A	
15	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システム構築導入事業			図書館	A	A	
16	移動図書館事業	○		図書館	A	A	
17	調理業務等民間委託業務			給食センター	A	A	
18	衛生管理費			給食センター	A	A	

沖振交：沖縄振興一括交付金

評価	内部評価	外部評価
S：計画以上(101%以上)	0事業	0事業
A：計画通り(80～100%)	17事業	17事業
B：ある程度計画通り(50～79%)	1事業	1事業
C：あまりうまくいっていない(30～49%)	0事業	0事業
D：うまくいっていない(29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	教育総務課		
事務事業名	大濱信泉記念館指定管理者制度				
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実			
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	指定管理者				
(2)目的	指定管理者制度を利用し大濱信泉記念館の管理を委託することで、柔軟な企画、催し物などに繋げ、地域の教育力の向上及び市民サービスの質の向上を目的とする。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	大濱信泉記念館の運営を指定管理者に委託する。指定管理者は、市からの委託料及び施設利用料を収入源とし、記念館の管理・運営費に充てる。大規模な修繕等は市の負担となっている。				
(4)成果目標	施設利用者数 24,000人/年				
(5)根拠法令等	大濱信泉記念館設置条例				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	6,971 千円	R3年度実績	決算額	6,983 千円
<input type="checkbox"/> 指定管理者:株式会社ハブクリエイト <input type="checkbox"/> 施設利用者数:16,209人/年 <input type="checkbox"/> 利用料収入:3,614,700円 <input type="checkbox"/> 指定管理委託料:4,000,000円			<input type="checkbox"/> 指定管理者:株式会社ハブクリエイト <input type="checkbox"/> 施設利用者数:15,231人/年 <input type="checkbox"/> 利用料収入:2,793,950円 <input type="checkbox"/> 指定管理委託料:4,000,000円		
			R5年度目標	予算額	7,600 千円
			<input type="checkbox"/> 指定管理者:株式会社ハブクリエイト <input type="checkbox"/> 施設利用者数:24,000人/年 <input type="checkbox"/> 利用料収入:4,000,000円 <input type="checkbox"/> 指定管理委託料:4,000,000円		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)施設利用者数は昨年と比較して978人増加したが、目標に対しては67.5%であった。指定管理者により施設貸し出しについて、インターネットから申請できるようになった。 (課題)施設老朽化による、雨漏りなど大規模修繕費が増加している。 (改善方法)指定管理者は自主事業として「大濱信泉生誕130周年記念行事」を開催しており、利用件数を増やす努力をしている。今後は、記念館の必要性などを整理し、適宜施設修繕費増額に努めていく。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%)
	A				
外部評価	施設利用の申請方法を改善し、施設利用者数が前年度に比べ増加したことは、評価できる。今後は、大濱信泉先生の偉業を後世に伝えるために、学校現場との連携や資料保存方法の見直しが必要である。特に、資料展示室の資料劣化が危惧される。展示資料の保存修理など、課題となっている点については、文化行政部署とも連携を図り、早急な対策を実施して頂きたい。また、施設の大規模修繕に向けての予算も早めに確保して頂きたい。				C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	教育総務課			
事務事業名	学校給食事業						
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り開く児童生徒の育成					
	施策項目	(13)食育の推進					
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)							
(1)対象	児童生徒の保護者						
(2)目的	学校給食費をこれまでの私会計から市の予算として管理執行する公会計制度へ変更し、公金として、透明性の確保を図ると共に、学校教職員の事務負担軽減を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公金として運用する為に必要な条例規則等の整備</li> <li>・公金収納システムへの給食費の追加、及び学校給食費管理システムの構築</li> <li>・公金としての、歳入歳出予算調整、計上、執行</li> <li>・学校給食担当教職員との共通認識強化</li> </ul>						
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則を制定する。</li> <li>・関係機関等との意見交換や説明会を経て、学校給食管理システムを導入する。</li> </ul>						
(5)根拠法令等	石垣市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例						
【事業実績・目標】							
令和4年度実績	決算額	4,802 千円		R3年度実績	決算額	0 千円	
<input type="checkbox"/> 石垣市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の制定(令和5年3月24日) <input type="checkbox"/> 公金収納システム運用業者(沖縄銀行)、給食費管理システム開発業者(沖縄行政)との契約 ・学校給食担当教職員との意見交換会(2回) ・学校給食担当教職員への説明会(2回) ・保護者向けの公会計説明資料の作成と、学校を介しての保護者への配布 ・新入学児童保護者向の作成と、学校を介しての保護者への配布 ・令和5年度学校給食費決定通知書並びに納付書印刷、学校を介しての配布			<input type="checkbox"/> 学校給食会計公会計導入検討会議開催(1回) <input type="checkbox"/> システム開発業者や印刷業者への見積書徴収			R5年度目標 予算額 10,219 千円	
			<input type="checkbox"/> 給食管理システムベンダーとの運用会議【2回】 <input type="checkbox"/> 学校や給食センター職員との意見交換会議【2回】 <input type="checkbox"/> 適切な未納者対策の取組みによる安定した徴収率の確保				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)石垣市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例規則を制定した。また、給食費のコンビニ納付やスマホアプリでの納付ができるようにするため、公金システムを導入した。 (課題)新規事業のため、納付手法や、システム導入のスケジュール調整など、検討時間が限られており事業の円滑な推進に課題がある。 (改善方法)システムの知識と会計知識のある職員を増員し、納付手法やシステムの運用方法について早期に検討調整を進め、事業を円滑に推進していく。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	外部評価	令和2年度より準備を進めてきた学校給食費の公会計化は、給食費の透明性の確保と学校教職員の事務負担軽減を図るために必要な事業であり、条例整備や学校現場との調整を経て、予定通り開始されたことは評価できる。開始したばかりであり、課題は多々あるが、事業を円滑に推進できるよう努めていただきたい。また、今後はシステム運用の安定化と学校給食費の全額徴収に向けて取り組んでいただきたい。					



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	教育総務課	
事務事業名	児童・生徒派遣費助成事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成			
	施策項目	2-(3)豊かな心の生育			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	石垣市内の市立小中学校、私立小学校、県立学校に在籍する児童生徒				
(2)目的	派遣費補助により保護者の負担軽減を図り、子ども達が派遣に行く機会確保の向上に努める。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	渡航費及び宿泊費に対し補助する。ただし、上限額は以下のとおり。 【航空運賃】 県内:8,000円(往復分補助) 県外(東北以南):21,000円(半額補助)、県外(東北以北):31,000円(半額補助) 【宿泊費】 県内:4,000円(全額補助)※県選抜選手のみ				
(4)成果目標	派遣費申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上				
(5)根拠法令等	沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	41,897 千円	R3年度実績	決算額	27,651 千円
<input type="checkbox"/> 保護者へのアンケート回答割合100% ・県内補助:延べ4,240名 ・県外補助:延べ393名			<input type="checkbox"/> 回答割合80% ・県内補助:延べ2,842名 ・県外補助:延べ230名		
			R5年度目標	予算額	41,690 千円
			<input type="checkbox"/> 回答割合90% ・県内補助:延べ4,300名 ・県外補助:延べ400名		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)コロナ対策等の緩和もあるが、令和3年度と比べ派遣に行く回数や人数が大幅に増えた。また、保護者へのアンケート結果からも高評価を維持している。 (課題)本事業は高補助率の国庫補助があつてこそ実施可能であり、一括交付金終了における児童生徒への派遣支援策の構築が今後の課題となる。 (改善方法)離島活性化補助金など新たな財源確保にむけ取り組む。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	コロナ対策の緩和もあり、派遣費助成件数はコロナ禍前の水準に近づき、保護者から一定の評価を得るなど、本事業の効果は大きい。本市の児童生徒の活躍は素晴らしく、保護者の負担軽減が図られていることは評価したい。助成金の増額要望も多いため、今後は更なる充実と継続性に向けて、財源確保に取り組んでいただきたい。			
外部評価	コロナ対策の緩和もあり、派遣費助成件数はコロナ禍前の水準に近づき、保護者から一定の評価を得るなど、本事業の効果は大きい。本市の児童生徒の活躍は素晴らしく、保護者の負担軽減が図られていることは評価したい。助成金の増額要望も多いため、今後は更なる充実と継続性に向けて、財源確保に取り組んでいただきたい。				A

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	学務課			
事務事業名	学校図書館図書整備費(小中)						
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実					
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)							
(1)対象	市立小中学校						
(2)目的	学校図書館の図書整備の充実と適正な管理。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	各校割当による図書の購入、学校図書館蔵書構成表による適正管理 等						
(4)成果目標	学習環境の充実を図る。						
(5)根拠法令等	学校図書館法						
【事業実績・目標】							
R4年度実績	決算額	5,724 千円		R3年度実績	決算額	9,139 千円	
<input type="checkbox"/> 小学校図書購入額 2,335,370円 <input type="checkbox"/> 中学校図書購入額 2,318,101円(内、教育総務寄付金204,000円) <input type="checkbox"/> 各校図書館地元新聞(2社)定期購読 1,069,632円			<input type="checkbox"/> 小学校図書購入額 4,122,159円(内、まちづくり支援寄付金1,525,781円) <input type="checkbox"/> 中学校図書購入額 3,946,554円(内、まちづくり支援寄付金1,298,631円) <input type="checkbox"/> 各校図書館地元新聞(2社)定期購読 1,069,632円			R5年度目標 予算額 5,528 千円 <input type="checkbox"/> 小学校図書購入予算額 2,340,000円 <input type="checkbox"/> 中学校図書購入予算額 2,117,000円 <input type="checkbox"/> 各校図書館地元新聞(2社)定期購読 1,071,000円	
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)例年ほぼ100%執行している。各校の管理についても毎年蔵書点検を行い年度末に学校図書館蔵書構成表を提出させており、適正な管理を行っている。 (課題)近年の支援学級増に伴う学級数の増加等により、割当額計算方法の見直しを検討をする必要がある。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	外部評価	ふるさと納税の活用により学校図書館の蔵書数は充実してきており、児童生徒の読書冊数増加、学習や情操教育につながっている。しかし、特別支援学級の増加等による図書購入割当予算額の見直しや、学校規模にかかわらずすべての児童生徒が利用できる環境の整備など、学校図書館の充実に向けた取り組みには、今なお課題がある。どの学校にいても多くの本に触れ合う機会が提供できるようにするなど、引き続き努力していただきたい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	学務課		
事務事業名	石垣小学校校舎建替事業					
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実				
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)						
(1)対象	石垣小学校児童、教職員					
(2)目的	昭和56年以前の建物は新耐震基準(昭和57年施行)に基づく安全性の確保が求められている。その為、昭和55年度、56年度に建設の校舎が耐力度調査により危険建物と判断されたため、改築する。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	新たに新耐震基準に合致し、安全・安心で学級数に応じた規模の校舎を整備する。当該校舎を撤去し、運動場を整備を行う。					
(4)成果目標	安全・安心で学級数に応じた適正規模の校舎を整備することにより児童の安全で快適な学習環境の確保・学力の向上の効果が期待できる。					
(5)根拠法令等	義務教育諸学校施設費負担法					
【事業実績・目標】						
令和4年度実績	決算額	320,805 千円	R3年度実績	決算額	1,323,032 千円	
<input type="checkbox"/> 令和4年度の法改正により、アスベストの調査報告を行うこととなり既設校舎の解体が遅れたが、事故もなく年度内に完了できた。			<input type="checkbox"/> 新校舎が予定通り完成し、供用開始できた。			
			R5年度目標	予算額	100,481 千円	
			<input type="checkbox"/> 外構工事をとして、運動場整備、東門移設、渡り廊下整備等を行う。			
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)構造耐力度上危険な状態であった建物を撤去し、学級数に応じた校舎を整備することにより、安心・安全な学習環境の確保ができた。 (課題)既設校舎解体が遅れたことにより、運動場の供用開始時期が遅れている。 (改善方法)外構工事を適切な行い。運動場の早期供用開始を目指す。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	外部評価	アスベスト調査の報告対応に伴う既設校舎の解体が遅れたことにより、運動場等の整備が遅れていることは残念だが、十分安全に配慮しながら、年度内に工事を完了している。今後は、長い間広い運動場を使うことができている石垣小学校の児童のためにも、早急に外構工事を完了していただきたい。				
	A					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名	学校保健特別対策事業費					
施策体系	主要施策	6 新しい時代を展望した教育行政の充実				
	施策項目	(2)学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)						
(1)対象	石垣市立小中学校(小学校19校、中学校9校)					
(2)目的	各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校の感染症対策等を講じる取組及び児童生徒の学びの保障をするための取組を実施するにあたり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校における感染症対策等支援(消耗品費、備品購入費)					
(4)成果目標	児童生徒の安心安全な学習環境の確保					
(5)根拠法令等	学校保健特別対策事業費補助金交付要綱、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱					
【事業実績・目標】						
令和4年度実績	決算額	19,928 千円	R3年度実績	決算額	26,067 千円	
<input type="checkbox"/> 財源の内訳 ・学校保健特別対策事業費補助金(学校等における感染症対策等支援事業)1/2 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫補助事業の地方負担分)1/2  <input type="checkbox"/> 事業実績 ・消耗品費(マスク、消毒液等) 10,495,778円 ・備品購入費(保健衛生備品、教材等) 9,431,266円			<input type="checkbox"/> 事業実績 ・消耗品費(マスク、消毒液等) 10,888,534円 ・備品購入費(保健衛生備品、教材等) 15,178,432円			
			R5年度目標	予算額	千円	
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各学校においては迅速な対応が求められる中、補助金を活用し支援することで、各学校の状況に応じた感染症対策等を行い、児童生徒が安心安全に学べる環境を整備することができた。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	外部評価	本事業は、各学校の実情に応じて、学校長判断で迅速かつ柔軟に対応することができ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や、学校における児童生徒の安全・安心な学習環境の確保と教育活動の運営に効果を発揮した。				
	A					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	GIGAスクール構想推進事業				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り開く児童生徒の育成(学校教育の充実)			
	施策項目	(7) 情報教育の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	市立小中学校				
(2)目的	多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	①児童生徒1人1台端末の整備 ②校内通信ネットワークの整備 ③学校ICT支援員の配置 ④①②の維持管理				
(4)成果目標	①児童生徒1人1台端末の整備率(100%)、②普通教室の無線LAN整備率(100%)、③学校ICT支援員の配置(4校に1名)				
(5)根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	66,216 千円	R3年度実績	決算額	482,619 千円
<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の配置【4名】 ※別途、沖振交にて2名配置  <input type="checkbox"/> GIGAスクール端末保守委託【5,515台】  <input type="checkbox"/> GIGAスクールネットワーク環境保全委託【24校】			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の配置【2名】※別途、沖振交にて2名配置 <input type="checkbox"/> GIGAスクール端末の整備【児童生徒:5,060台、教諭:455台】 <input type="checkbox"/> GIGAスクールネットワーク環境整備【24校】		
			R5年度目標	予算額	74,498 千円
			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の配置【4名】※別途、沖振交にて2名配置 <input type="checkbox"/> GIGAスクール端末保守委託【5,515台】 <input type="checkbox"/> GIGAスクールネットワーク環境保全委託【24校】		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果) 令和3年度に整備した端末及びネットワークの維持管理を行った。 (課題) デジタル教科書の本格導入に向けて、ネットワーク環境の改善を図る必要がある。 (改善方法) 令和6年度より初等中等教育に開放されるSINETに接続することで改善を図る。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	GIGAスクール構想で配備された児童生徒一人1台のタブレット端末及びネットワークの維持管理は、計画通りに進められていることを評価する。また、整備した機器の有効活用を図るために配置しているICT支援員が果たす役割は大きい。 次代を担う児童生徒にとって情報活用能力は学習の基盤となる資質・能力であり、新たなネットワーク接続の環境の整備を進めていただきたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	児童生徒の自律支援事業				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り開く児童生徒の育成(学校教育の充実)			
	施策項目	(1) 自己肯定感を育む「勇気づけの教育」の推進 (2) 確かな学力の育成			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	市内小・中学校				
(2)目的	きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市内小・中学校に子ども自律サポーターを配置する。				
(4)成果目標	①自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ②課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるの回答割合:児童30%、生徒30%以上 ③家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上				
(5)根拠法令等	石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例、子ども自律サポーター設置要項				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	66,223 千円	R3年度実績	決算額	千円
<input type="checkbox"/> 子ども自律サポーターの配置 小学校18名、中学校4名 計 22名  <input type="checkbox"/> 成果目標に対する実績 ①児童 45.5% 生徒 38.0% ②児童 38.8% 生徒 27.0% ③児童 37.4% 生徒 17.9%			<input type="checkbox"/> 令和4年度新規事業として実施しているため決算及び実績なし  R5年度目標 予算額 80,857 千円 <input type="checkbox"/> 子ども自律サポーターの配置目標 24名  <input type="checkbox"/> 成果指標 ①児童36%以上 生徒30%以上 ②児童30%以上 生徒30%以上 ③児童35%以上 生徒20%以上		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)令和4年度第2回沖縄県児童生徒質問紙調査(小4~6年・中1~3年実施)によると、自己肯定感について問う質問において、目標を8~10%上回った。 (課題)同調査での計画的な家庭学習、課題解決学習に関する質問項目では、中学校の回答が数ポイント下回る結果となった。 (改善方法)支援を必要としている多くの児童生徒にサポートが届くよう適正な子ども自律サポーターの配置に努めたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	学校現場へ多くの子ども自律サポーターが配置され、児童生徒へのきめ細やかな支援が行われたことで、自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着が図られていることは評価したい。中学生の回答ポイントが目標ポイントを下回っているが、質問の意図が的確かどうか気になる所であり、令和5年度成果を注視したい。学校における必要性は大きいため、今後も人材確保も含め、児童生徒のニーズに合わせた支援が図られることを期待したい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	石垣市学校PCR検査費用助成事業				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り開く児童生徒の育成(学校教育の充実)			
	施策項目	(12) 学校安全・防災教育の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	学校長が依頼した学校集団PCR検査を医療機関で受検した石垣市にある小・中・高等学校の教職員及び高校生(以下「対象者」という。)				
(2)目的	新型コロナウイルス感染症の早期発見及び集団感染防止のため実施する学校の集団PCR検査にて、他の医療費等補助の対象外となっている教職員及び高校生に検査料を補助し円滑な検査体制を構築する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者は医療機関で支払後、領収書と診療明細書を添付し、石垣市学校PCR検査費等補助金交付要綱に基づいた申請書類を提出</li> <li>対象者の口座(未成年者は保護者)へ振込</li> </ul>				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への補助 100件</li> </ul>				
(5)根拠法令等	石垣市学校PCR検査等補助金交付要綱、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	275 千円	R3年度実績	決算額	千円
<input type="checkbox"/> 対象者への周知徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校向け、対象者向けの周知チラシを作成</li> <li>学校へ周知依頼を送付(2回)</li> <li>補助申請未提出者への周知依頼を学校担当者に電話確認</li> </ul>			令和4年度限定事業のため実績なし		
<input type="checkbox"/> 対象者への補助実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>補助件数 100件</li> </ul>			R5年度目標	予算額	千円
			令和4年度限定事業のため実施なし		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)新型コロナウイルス感染症拡大に伴い年度途中からの事業開始であったため集団検査の在り方、制度設計、対象者への周知等短期間での事業実施に苦慮したが、周知徹底し、領収等の添付書類紛失時にも対応できるよう医療機関と調整を充分に行ったため対象者の8割近くが補助を申請した。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	学校の集団PCR検査にて、医療費補助対象外の教職員及び高校生への検査料の補助を行ったことは、感染症の早期発見及び集団感染防止だけでなく、該当者の医療費負担軽減が図られており評価する。今後とも、児童生徒はもとより教職員と連携を図り安心安全教育を徹底していただきたい。				
	A				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	子ども若者総合相談支援事業				
施策体系	主要施策	3 地域を誇りにした健やかな青少年の育成(青少年の健全育成)			
	施策項目	(3) 子ども若者自立支援の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	0歳～39歳の石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する児童生徒及び若者				
(2)目的	ユースアドバイザーが義務教育期以降に学校や家庭・社会で孤立する子ども若者、その関係者の困り感を把握し、教育、福祉、医療、雇用等の専門的機関へ繋ぎ・伴走し、一人ひとりの複合的な問題に対して包括的な支援を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	不登校児童生徒、義務教育修了後の進路未決定者及びひきこもりについて、ユースアドバイザーによる相談、生活指導、登校支援、就学・就労支援等を行う。同時に臨床心理士を活用した子ども若者個別相談会や支援者等へのスーパーバイズを通じた相談支援を行う。また教育、福祉、就労、矯正等の幅広い関係機関で構成される「本市子ども若者支援地域協議会」とも連携し伴走型支援を行うと同時に、より効果的支援に向けた組織の連携強化を図る調査研究、研修、広報を行う。				
(4)成果目標	不登校児童生徒の学校復帰、ニートやひきこもり等の義務教育修了者の就学・就労				
(5)根拠法令等	子ども若者育成支援推進法、石垣市子ども若者支援地域協議会設置要綱、石垣市ユースアドバイザー設置に関する要領、石垣市子ども若者総合窓口相談業務等のスーパーバイザー設置に関する規則				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	15,384 千円	R3年度実績	決算額	12,897 千円
<input type="checkbox"/> 相談件数59件(新規44件、継続15件) <input type="checkbox"/> 相談結果:終結35件(就学・就労9件、他機関へ引継ぎ13件、欠席状況の改善8件、その他5件)、継続24件 <input type="checkbox"/> 個別相談会(4回実施)、スーパーバイズ(12回実施)、市子ども若者支援地域協議会実務者会議(4回)		<input type="checkbox"/> 相談件数55件(新規30件、継続25件) <input type="checkbox"/> 相談結果:終結40件(就学・就労8件、他機関へ引継ぎ8件、欠席状況の改善2件、その他22件)、継続15件 <input type="checkbox"/> 個別相談会(4回実施)、スーパーバイズ(12回実施)、市子ども若者支援地域協議会実務者会議(4回)			
		R5年度目標	予算額	20,300 千円	
		<input type="checkbox"/> 新規相談受付件数60件以上(令4年:44件、令3年:30件) <input type="checkbox"/> 就学・就労12件以上(令4年:9件、令3年:8件) <input type="checkbox"/> 欠席状況の改善12件以上(令4年8件、令3年2件) <input type="checkbox"/> 個別相談会(4回実施)・スーパーバイズ(12回実施)、市子ども若者支援地域協議会実務者会議(4回)の充実開催			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b>				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	(成果)前年度から新規相談件数、就学・就労件数、他機関への引継ぎ、欠席状況の改善を図る等、臨床心理士や「子ども若者支援地域協議会」との連携強化による伴走型支援による寄り添いができた。 (課題)子ども若者総合相談支援を必要とする潜在的な児童生徒、若者とその関係者へのアプローチや「子ども若者支援地域協議会」構成組織を始めとする関係機関との伴走型支援に向けた更なる連携強化(改善方法)あらゆる媒体や関係機関を通じた当該事業の周知、利用者始め関係機関にもわかりやすい「本市子ども若者相談」リーフレット作成			
外部評価	教育・福祉・医療・雇用などの専門的機関をはじめとする多種多様な機関との連携が強化された伴走型支援の取り組みを評価したい。課題は大きい、ニーズも多くあり、期待が大きい。潜在的に引きこもっているケースもあるとのことなので、まずは事業周知を図るためのリーフレットの作成を行い、事業の充実を図っていただきたい。				A



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	文化財課	
事務事業名	椴海古墓群発掘調査事業				
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(1)文化財の保護と活用			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	市民				
(2)目的	椴海地区内のリゾート開発に伴う埋蔵文化財の記録保存を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	発掘調査及び出土資料の整理を行い、報告書としてまとめる。事業期間(令和4年度～令和5年度)				
(4)成果目標	発掘調査(166㎡)、出土資料の整理、報告書の発刊(300部)。				
(5)根拠法令等	文化財保護法				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	12,769 千円	R3年度実績	決算額	千円
<input type="checkbox"/> 発掘調査面積:166㎡ <input type="checkbox"/> 成果(遺構、出土遺物等) ・遺構:古墓3(亀甲墓1、石積墓2)基、付属墓5基 ・人骨検出:11体 ・出土遺物:人工遺物(パナリ焼、本土産陶磁器、沖縄産陶器、等)、自然遺物(貝類、獣骨) <input type="checkbox"/> 写真測量委託			R5年度目標 予算額 6,985 千円 <input type="checkbox"/> 出土遺物の整理を行い、発掘調査報告書(300部)を発刊する。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)発掘調査の結果、古墓3基中2基の周囲に付属墓が5基確認され、同時に人骨も検出された。調査結果により、近代の墓の構造や葬制のデータが追加され、今後の研究に資するものと期待される。 (課題)予定していた調査は終えることができたが、調査中に新たな遺構が確認されたことなどから、調査期間が延長となった。 (改善方法)今後、発掘調査を行う際は、調査期間、調査費用の見積額の精度を高めるよう、しっかりと事前調査を行う必要がある。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	文化財保護法に基づく埋蔵文化財発掘調査は、突発的な案件も伴い調査期間の見通しが難しいと思われるが、可能な限り丁寧な事前調査を行った上で事業を遂行していただきたい。 また、発掘調査報告書の作成後は、広く市民に周知を図っていただきたい。			
	A				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	文化財課		
事務事業名	文化財保護啓発費					
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(1) 文化財の保護と活用				
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)						
(1)対象	市民					
(2)目的	文化財の保護啓発及び活用					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を対象とした文化財めぐり、戦跡めぐり及び自然観察会等の開催。</li> <li>文化財パトロールの実施。</li> <li>令和4年度は6月補正により予算を増額し、まちづくり支援寄附金を活用した傷病カンムリワシ救護業務委託(単価契約)を7月から実施。</li> </ul>					
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を対象とした文化財めぐり、戦跡めぐり及び自然観察会を各1回開催する。</li> <li>傷病カンムリワシ救護業務においては、交通事故等により傷を負って収容された個体に適切な治療やリハビリ訓練を施し、野生復帰を目指す。</li> </ul>					
(5)根拠法令等	文化財保護法					
【事業実績・目標】						
令和4年度実績	決算額	4,290 千円		R3年度実績	決算額	873 千円
<input type="checkbox"/> 「文化財めぐり」開催 参加者21名 (例年、募集人数を30名としていたが、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して開催した。) <input type="checkbox"/> 「戦跡めぐり」及び「自然観察会」は、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催できなかった。 <input type="checkbox"/> 「傷病カンムリワシ救護業務委託」では、収容された6羽の個体に手術等の治療や検査、リハビリ訓練を行い、経過が良好な2羽を野生復帰させることができた。他2羽はリハビリ訓練、1羽は終生飼養中(1羽は収容後死亡)。				<input type="checkbox"/> 「文化財めぐり」開催 参加者15名 (例年、募集人数を30名としていたが、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して開催した。)		
				R5年度目標	予算額	1,020 千円
				<input type="checkbox"/> 「文化財めぐり」、「戦跡めぐり」及び「自然観察会」を、各1回開催する。 <input type="checkbox"/> 「傷病カンムリワシ救護業務委託」は、R5年度は別事業として整理し、継続して実施する。		
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)「文化財めぐり」は、コロナ以前に近い形(バス使用)での開催となった。また、令和4年度から「傷病カンムリワシ救護業務委託」を導入し、2羽を野生復帰させた。 (課題)「文化財めぐり」など、文化財保護啓発事業は、継続して実施できるよう工夫が必要となる。また、令和4年度から行っている「傷病カンムリワシ救護業務委託」の充実を図る必要がある。 (改善方法)「傷病カンムリワシ救護業務委託」については、委託先やボランティアなどの関係者と連携を密にし、より充実した救護業務を図っていく。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく っていない (30~49%) D:うまくい っていない (29%以下)
	A					
外部評価	これまで民間機関に委ねていた傷病カンムリワシ救護業務が、ふるさと納税事業活用により充実強化が図られたことは評価する。また、コロナ禍において市民を対象とした「文化財めぐり」「戦跡めぐり」及び「自然観察会」のうち、「文化財めぐり」のみ規模を縮小しての開催となったが、継続して開催したことは、評価に値する。今後は、存続が危惧される民俗部門の取り組み強化にむけ努力していただきたい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	市史編集課		
事務事業名	「市政のあゆみ(平成版)」編集・発刊事業				
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	市民				
(2)目的	主に平成期の石垣市の行政のあゆみを「市政のあゆみ2(仮称)」として編集・記録し、各分野において今後の参考資料として活用されることを目的とする。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料として有用な写真、行政資料等のスキャニング・デジタル化</li> <li>市役所各部署と連携し、原稿執筆及び編集作業を行う</li> </ul>				
(4)成果目標	既刊の「市政のあゆみ」に続くものとして、昭和末期から平成期の石垣市の動静を「市政のあゆみ2」としてまとめ、市民や市役所内各部署での活用に供する。				
(5)根拠法令等	「市政のあゆみ2～平成の記録～」(仮称)刊行委員会設置要綱				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	263 千円	R3年度実績	決算額	666 千円
<input type="checkbox"/> 石垣市行政資料のスキャニング・デジタル化…3,226枚 <input type="checkbox"/> 市役所各部署からの原稿確認及び編集作業		<input type="checkbox"/> 石垣市撮影写真資料・行政資料等のスキャニング・デジタル化…4,515枚 <input type="checkbox"/> 市政のあゆみ2刊行委員会の開催…1回 <input type="checkbox"/> 市役所各部署による原稿作成及び編集作業			
		R5年度目標	予算額	7,669 千円	
		<input type="checkbox"/> 原稿編集作業継続実施 <input type="checkbox"/> 原稿年内取りまとめ <input type="checkbox"/> 年度内発刊を目指す			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)本書を編集する際に参考資料となる行政資料のデジタル化を行った。資料のデジタル化は、副次的に資料の保存に資するほか将来の活用を容易にするものと期待できる。また、市役所各部署から提出された原稿・図表等の内容確認及び編集作業を行った。 (課題)原稿・図表等の確認作業に時間が掛かっている。 (改善方法)関係部署との連携を密に取りながら、原稿・図表等の慎重かつ迅速な把握・整理・照合に努め、編集作業を進めていく。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	B				
外部評価	「市政のあゆみ」発刊に向けて、3,226枚の行政資料のスキャンニング・デジタル化が行われ、資料の保存と今後の活用が期待できると評価したい。昭和末期～平成期の約40年間、庁内各部署を網羅したデータ収集は膨大な作業量であり、少数体制の中での原稿確認、編集作業だと思われるが、発刊を待ち望んでいる市民も多いと思うので、早期発刊に向けて作業を進めていただきたい。				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	博物館	
事務事業名	重要文化財保存修理事業				
施策体系	主要施策	5 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(8)博物館所蔵資料保存・管理の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)				
(2)目的	「八重山蔵元絵師の画稿類(宮良安宣旧蔵)」について文化財保護法第31条及び第34条の2により、令和2年度から令和4年度の期間において長期保存に適した修理を実施する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	令和元年に重要文化財に指定された「八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)」を適切に保存、管理、公開するための保存修理事業				
(4)成果目標	「八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)」について、長期保存に適した修理を実施する。				
(5)根拠法令等	文化財保護法第35条				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	3,722 千円	R3年度実績	決算額	3,489 千円
八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)の内、30点の資料について保存修理を施した。また、令和2年度、3年度修理分と合わせて全資料のデジタル撮影を行った。			八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)の内、38点の資料について保存修理を施した。		
			R5年度目標	予算額	千円
			実施なし。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果)令和2年度から令和4年度にかけて、合計90点の資料の保存修理を行った(令和2年度・22点、令和3年度・38点、令和4年度・30点)。また、令和4年度には全資料のデジタル撮影を行った。 (課題)修理を終えた資料を今後、どのように活用していくかが課題となる。 (改善方法)当館では令和5年度に当資料をテーマとした企画展を開催し、市民に資料原本を公開して活用する予定である。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	平成元年に国の重要文化財に指定された「八重山蔵元絵師画稿類(宮良安宣旧蔵)」を、3年間かけて合計90点の修理を施し、全資料のデジタル撮影を終えた。今後は、この貴重な資料を周知、活用していくことになるが、企画展など創意工夫を凝らして市民へ公開していただきたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)	主管課	図書館		
事務事業名	地元新聞及び郷土資料等 総合的検索構築導入事業				
施策体系	主要施策	4 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]			
	施策項目	(10) 市立・学校図書館活動の充実			
【事業実績・目標】	※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1)対象	市民				
(2)目的	平成4(1992)年に石垣市立図書館が独自に導入した新聞検索システムは、地元2社が発刊する新聞をデータベース化し、本土紙では扱わない地元の特化した記事の検索が可能となることで、郷土資料の充実を図ることを目的としている。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞検索システムを開発した地元業者へデータベース作成を委託</li> <li>・館内において専用端末PC(1台)を設置し運用</li> </ul>				
(4)成果目標	令和4年度は、新たに2015年4月1日から2017年3月31日までのデータベースを作成				
(5)根拠法令等	石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条第7号				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	5,175 千円	R3年度実績	決算額	5,175 千円
<input type="checkbox"/> 内容 地元新聞検索システムのデータベース作成 <input type="checkbox"/> 対象 八重山毎日新聞、八重山日報 <input type="checkbox"/> 期間 2015年4月1日から2017年3月31日まで  [現在検索できる期間] ・八重山毎日新聞 1983(S28)年1月から2017(H29)年3月まで ・八重山日報 1977(S52)年10月から2017(H29)年3月まで			<input type="checkbox"/> 内容 地元新聞検索システムのデータベース作成 <input type="checkbox"/> 対象 八重山毎日新聞、八重山日報 <input type="checkbox"/> 期間 2013年4月1日から2015年3月31日まで  R5年度目標 予算額 5,175 千円 <input type="checkbox"/> 内容 地元新聞検索システムのデータベース作成 <input type="checkbox"/> 対象 八重山毎日新聞、八重山日報 <input type="checkbox"/> 期間 2017年4月1日から2019年3月31日まで		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果) 計画通りデータベース作成業務を完了している。 (課題) 現在の新聞検索システムは、対応するOSがWindows10までとなっているため、サービス終了までの間に新たな方法を模索して、現在のサービスを維持・継続する必要がある。 (改善方法) 新たな新聞検索システム(クラウド版)への移行を検討する。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	地元新聞のデジタル化を実施している。これにより、新聞記事が館内の専用PCで検索でき、郷土資料として必要な時にいつでも過去の出来事を知ることができるシステムであり、その存在価値は高いと考えられる。今後もぜひ継続していただきたい。また、対応OSのサービス終了までに、新たなシステムへの移行をお願いしたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	図書館	
事務事業名	移動図書館事業				
施策体系	主要施策	4 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]			
	施策項目	(10) 市立・学校図書館活動の充実			
【事業実績・目標】	※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)				
(1)対象	市民				
(2)目的	主に北西部地域への図書サービスの強化と、移動図書館の最大のメリットである「どんな場所でも図書館の雰囲気を感じることができる」に特化した図書サービスの展開を図ることで市民がより身近に図書館を感じることを目的としている。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	移動図書館専用車(通称:こっかあら号)等により8ヵ所のサービスポイントを定期的に巡回している。また、市内保育園や小中学校へ臨時的に巡回している。 ・毎月第1、第3日曜日(東回りルート) 伊野田公民館、明石公民館、平久保公民館 ・毎月第2、第4日曜日(西回りルート) 下地公民館、川平集落センター、崎枝公民館 ・毎月第2水曜日 石垣市役所庁舎 ・八重山特別支援学校(年5回)				
(4)成果目標	第8次石垣市行政改革大綱実施計画に基づく令和4年度目標値 ・貸出冊数 3,500冊 ・利用者数 700人 ・ サービスポイント数 8ヵ所				
(5)根拠法令等	石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条第13号				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	183 千円		R3年度実績	決算額 千円
<input type="checkbox"/> 貸出冊数 3,599冊 <input type="checkbox"/> 利用者数 675人 <input type="checkbox"/> 実施サービスポイント数 8ヵ所 伊野田公民館、明石公民館、平久保公民館、 下地公民館、川平集落センター、崎枝公民館、 石垣市役所庁舎、八重山特別支援学校、  ※臨時巡回:宮良小学校、白保中学校、ふくぎこども園		<input type="checkbox"/> 貸出冊数 2,886冊 <input type="checkbox"/> 利用者数 518人 <input type="checkbox"/> 実施サービスポイント数 7ヵ所 伊野田公民館、明石公民館、平久保公民館、 下地公民館、川平集落センター、崎枝公民館、 八重山特別支援学校		R5年度目標 予算額 374 千円 第8次石垣市行政改革大綱実施計画に基づく令和5年度目標値  <input type="checkbox"/> 貸出冊数 4,200冊 <input type="checkbox"/> 利用者数 850人 <input type="checkbox"/> サービスポイント数 10ヵ所	
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)成果目標の指標となる貸出冊数、利用者数、サービスポイント数がいずれも前年度を上回った。また、臨時巡回として市内こども園や小中学校へ出向き多くの子どもたちに移動図書館の魅力を感じてもらえた。 (課題)令和5年度は巡回先を増やすが、安定的な移動図書館サービスを継続するためには専属運転手や専属司書の確保が必要となっている。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	主に北西部地域への図書サービスとして、計画どおりに事業を実施し、貸出冊数、利用者数ともに増加しており、事業の効果が見られる。また、市役所庁舎や特別支援学校、幼児施設、小中学校と巡回先も増えており、より広く市民への図書サービスを行っていることは評価に値する。今後は、巡回先を増やすためにも、職員の確保を図っていただきたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	学校給食センター	
事務事業名	調理業務等民間委託業務				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成【学校教育の充実】			
	施策項目	(13)食育の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	給食センターにおける調理業務等の作業部門				
(2)目的	給食センター調理業務等を民間委託し、民間の技術と専門性を活用して安心、安全な給食の提供と給食センターの運営の安定化を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	民間委託契約に係る業務である委託業者の公募及び委託業者選定委員会を開催し、選定結果の公表と委託契約内容等の協議と契約を行う。業務委託により、学校給食業務の円滑な運営の維持及び向上を図る。				
(4)成果目標	平成29年(2017年)8月よりスタートした調理業務等委託契約期間終了の年度により、契約にかかる業務を計画的に行ない、安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図る。				
(5)根拠法令等	○石垣市立学校給食センター調理業務等民間委託推進検討会議設置要綱 ○石垣市立学校給食センター調理業務等委託検証委員会設置要綱 ○石垣市立学校給食センター調理業務等委託業者選定委員会設置要綱				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	125,124 千円	R3年度実績	決算額	125,124 千円
<input type="checkbox"/> 調理等民間委託業務 ・平成29年8月～令和2年7月(3年間長期継続契約) ・令和2年8月～令和7年7月(5年間長期継続契約)			令和3年4月～令和4年3月(5年間長期継続契約) 給食調理予定日数:197日 給食提供予定食数:1,004,561食		
<input type="checkbox"/> 令和4年4月～令和5年3月実績 給食調理日数:195日 給食提供食数:988,561食			・安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図るため 随時業務会議等を開催し、衛生、業務管理等運営状況を 確認した。		
・食材検収、調理業務、配送業務、配送車維持管理等の 適正実施 ・食品衛生責任者(栄養士)、業務責任者、ボイラー技士、 厨房施設責任者等の適正配置 ・安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図るため 随時業務会議等を開催し、衛生、業務管理等運営状況を 確認した。			R5年度目標	予算額	125,124 千円
			令和5年4月～令和6年3月(5年間長期継続契約) 給食調理予定日数:198日 給食提供予定食数:1,059,300食		
			・安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図るため 随時業務会議等を開催し、衛生、業務管理等運営状況を 確認する。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)調理業務等委託契約に係る業務の一部にコロナ禍による影響があったものの、計画どおりにすすめることができた。また、安心安全な給食の提供と安定したセンター運営を図ることができた。 (課題)次回委託業務更新に向けた検証と評価の実施と、委託業者における人材確保				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70～100%) B:ある程度 計画通り (50～69%) C:あまりうまく っていない (30～49%) D:うまくいっ っていない (29%以下)
A					
外部評価	民間委託により、民間の技術と専門性を活用し、安全・安心な給食の提供と給食センターの運営の安定化を図っている。また、委託先の業者は県内の給食業務に精通している。今後も安定した学校給食業務が遂行できるよう、定期的に業務会議等を開催し、衛生管理・業務管理を徹底する必要がある。また、課題となっていた給食へのパン配給についても検討を続けていただきたい。				
A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和5年度(令和4年度事業)		主管課	学校給食センター	
事務事業名	衛生管理費				
施策体系	主要施策	2 自分の良さや可能性を伸ばし未来を切り拓く児童生徒の育成【学校教育の充実】			
	施策項目	(13)食育の推進			
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)					
(1)対象	給食センター施設及び納入食材				
(2)目的	「学校給食衛生管理基準」に基づき、安心安全な給食提供を行うため専門機関の視点から検査及び評価を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	安心安全な給食を提供するため、納入された食材の安全性の確認のため食品分析委託(年3回)、調理施設内の衛生検査(年3回)、腸内細菌検査(月2回)、異物混入時における検査(随時)を適切に実施する。				
(4)成果目標	「学校給食衛生管理基準」に基づいた調理施設の衛生管理が適切に行われているか点検し、学校給食を安全かつ継続的に提供できているか。				
(5)根拠法令等	学校給食衛生管理基準				
【事業実績・目標】					
令和4年度実績	決算額	1,333 千円	R3年度実績	決算額	1,337 千円
<input type="checkbox"/> 安心安全な給食提供を行うために、納入された食材について食品分析調査を実施し安全性を確認した。 <input type="checkbox"/> 施設面については、専門機関に衛生点検を委託し概ね適正との評価を得た。また、客観的な視点による改善策を提示してもらい対応及び改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設衛生検査(年3回)</li> <li>食材検査委託(年3回)</li> <li>腸内細菌検査(月2回)</li> <li>異物化学分析(随時)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>安心安全な給食提供を行うために、納入された食材について食品分析調査を実施し安全性を確認した。</li> <li>施設面については、専門機関に衛生点検を委託し概ね適正との評価を得た。また、客観的な視点による改善策を提示してもらい対応及び改善を図った。</li> </ul>		
			R5年度目標	予算額	2,224 千円
			<ul style="list-style-type: none"> <li>安心安全な給食提供を行うために、納入された食材について食品分析調査を実施し安全性を確認する。</li> <li>施設面については、専門機関に衛生点検を委託し概ね適正との評価を得た。また、客観的な視点による改善策を提示してもらい対応及び改善を図る。</li> <li>学校給食室の衛生検査を実施する。</li> </ul>		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題・改善方法】</b> (成果)衛生的な環境下で学校給食を適正に提供できた。 (課題)機器の更新時期を迎える中で、衛生環境を維持していくため、現行水準を維持した検査委託を継続し、検査結果を踏まえ、速やかに改善を図る体制を確保すること。また、学校における給食室の衛生管理についても検査を実施していきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	安全安心な給食提供を行うために、専門機関の視点から、食材についての食品分析調査、施設や職員の衛生点検が計画的に実施されている。児童生徒及び学校職員への健康被害が起きることがないよう、今後とも衛生的な環境下での学校給食の提供をお願いしたい。また、学校給食室は、校舎の老朽化に伴い、給食室内の衛生管理が心配である。是非、早急に衛生検査を実施し改善に努めていただきたい。				
	A				



### 3 外部評価委員による総評

大嵩 久美子

去る9月26日から27日の2日間、石垣市教育事務点検評価各課ヒアリングを実施致しました。

石垣市教育委員会教育主要施策体系における主要施策に基づき実施された事務事業のうち、18事業について担当課長より説明を受けました。

各課とも目標達成にむけ真摯に取り組み、課題や改善策等も的確に分析されており、概ね計画通りと評価されます。今後とも事業の実現実行に向けて邁進されることを期待いたします。

さて、コロナ禍による社会状況の変化に伴い、児童生徒の安心安全な学習環境を確保するべく様々な取り組みがなされております。

「学校保健特別対策事業」や「石垣市学校PCR検査費用助成事業」では、国や市等の補助金を活用し、迅速かつ柔軟な対応を図り、早期発見や集団感染防止に繋がり、教育活動の運営に効果を発揮したと伺っております。

今後とも、日常生活における手洗いやうがい等、基礎基本となる衛生管理の徹底を図り、関係機関連携のもと、進めていただきますようお願い致します。

「市政のあゆみ（平成版）編集・発刊事業」は、昭和末期から平成期までの約40年間の石垣市の動静をまとめて発刊する事業であり、貴重な資料となることでしょう。各部署から提出される膨大な資料原稿等の確認作業は、双方ともに大変だったと伺いました。将来的に「令和版」が発刊される時のために、今回の工程を参考に今から対策を講じるのも一計かと存じます。

いまある文化財を将来のために継承していくことは、今を生きる者の責務だと考えます。文化財の保護啓発及び活用に資する事業については、民俗文化財（衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する民族習慣、民俗芸能など）の保存継承への取り組みを切望します。

「大濱信泉記念館」は、郷土の偉人・石垣市名誉市民でもある大濱信泉先生の偉業を後世に伝えるべく開設された施設です。施設利用にあたり、広く地域や学校現場と連携し、更なる有効活用を図っていただきたいと思えます。また、築25年を経過しており、建物施設はもとより貴重な展示資料の劣化等が危惧されます。保存方法を含め早急な対応が望まれるところです。

自分の良さや可能性を伸ばし、未来を切り開く児童生徒の育成事業や青少年の健全育成事業の推進など、臨床心理士やユースアドバイザー、自立支援サポーター、ICT支援員、その他多くのサポーターの存在は貴重であり、日頃のご労苦に心から感謝申し上げますと共に、益々必要とされる業務だと痛感致しました。

大規模な施設整備等、ハード事業からソフト事業まで、国、県の補助金や市の単独予算等、どの事業も創意工夫のもと取り組まれておりました。全体課題である財源確保や人員不足の解消が図られ、未来を担う子ども達のため、市民のため、地域のために教育委員会の果たすべき役割を全うしていただきますようお願い申し上げます、総評と致します。

令和5年度石垣市教育事務点検評価における外部評価委員に委嘱され、令和4年度事業についての外部評価に携わらせて頂いた。教育委員会が実施している多くの事業の中から18事業を抽出して点検及び評価を行ったが、その際の各課担当者からのヒアリングにより各事業の執行に真摯に取り組んでこられたことを知ることができた。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、各事業の推進には大変なご苦労があったと思われ、中止や規模縮小を余儀なくされた事業があったことは十分理解できる。以下、各事業の中から評価できる点や今後取り組んでもらいたいことを、いくつかあげてみたい。

教育総務課における新規事業「学校給食事業」においては、給食費の公会計化が開始され、学校における教職員の事務負担軽減と給食費徴収率アップが期待されている。今後は、システム運用の安定化と給食費の全額徴収に向けて取り組んで頂きたい。

学務課の「学校保健特別対策事業」や学校教育課の「石垣市学校PCR検査費用助成事業」では、学校において感染予防のための備品や消耗品の購入や学校PCR検査実施による感染拡大防止を図ったことで、児童生徒及び教職員の安全・安心な学習環境の整備と教育活動の推進に効果を発揮したことは高く評価したい。

学務課の「学校図書館図書整備費」において、学校図書館の蔵書数が充実しているところである。同様に、図書館の「移動図書館事業」では、北西部地域を中心に市民への図書サービスが展開されている。今後も市民や児童生徒のニーズに合わせた本の購入や学校規模や地域に関係なく、多くの本と出合う機会や場を作って頂きたい。

学校教育課の「GIGAスクール構想推進事業」で配備された児童生徒1人1台端末により、学習環境や学習内容が大きな広がりを見せている。Society5.0時代を生きる子ども達にとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとも言われている。効果的な活用がなされるためにもネットワーク環境の改善に努めて頂きたい。

学校給食センターにおける「調理業務等民間委託業務」「衛生管理費」は、衛生的な環境下で、安全・安心な学校給食の提供がなされているところであり、適切な栄養の摂取と児童生徒の健康の保持増進が図られている。

また、沖振交予算を活用して、学務課の「児童生徒派遣費助成事業」、学校教育課の「児童生徒の自律支援事業」、いきいき学び課の「子ども若者総合相談支援事業」など、児童生徒への支援が幅広く展開されている。寄り添った支援が効果を発揮していることに比例して、派遣費の増額、支援員の増員等の要望が多くあると思われる。更なる充実と継続に向けて財源確保、人材確保にどう取り組んでいくかが課題である。

先人の遺してきた文化財を保存するとともに、その活用を推進し、次代へ継承していくためには、文化財課の「梶海古墳群発掘調査事業」、「文化財保護啓発費」、博物館の「重要文化財保存修理事業」は、大切な事業の一つだと考える。当時を知る貴重な資料であるため、今まで以上に市民へ広く周知し、公開することを期待したい。

『市政のあゆみ（平成版）』の編集・発刊作業については、膨大な量の原稿確認と編

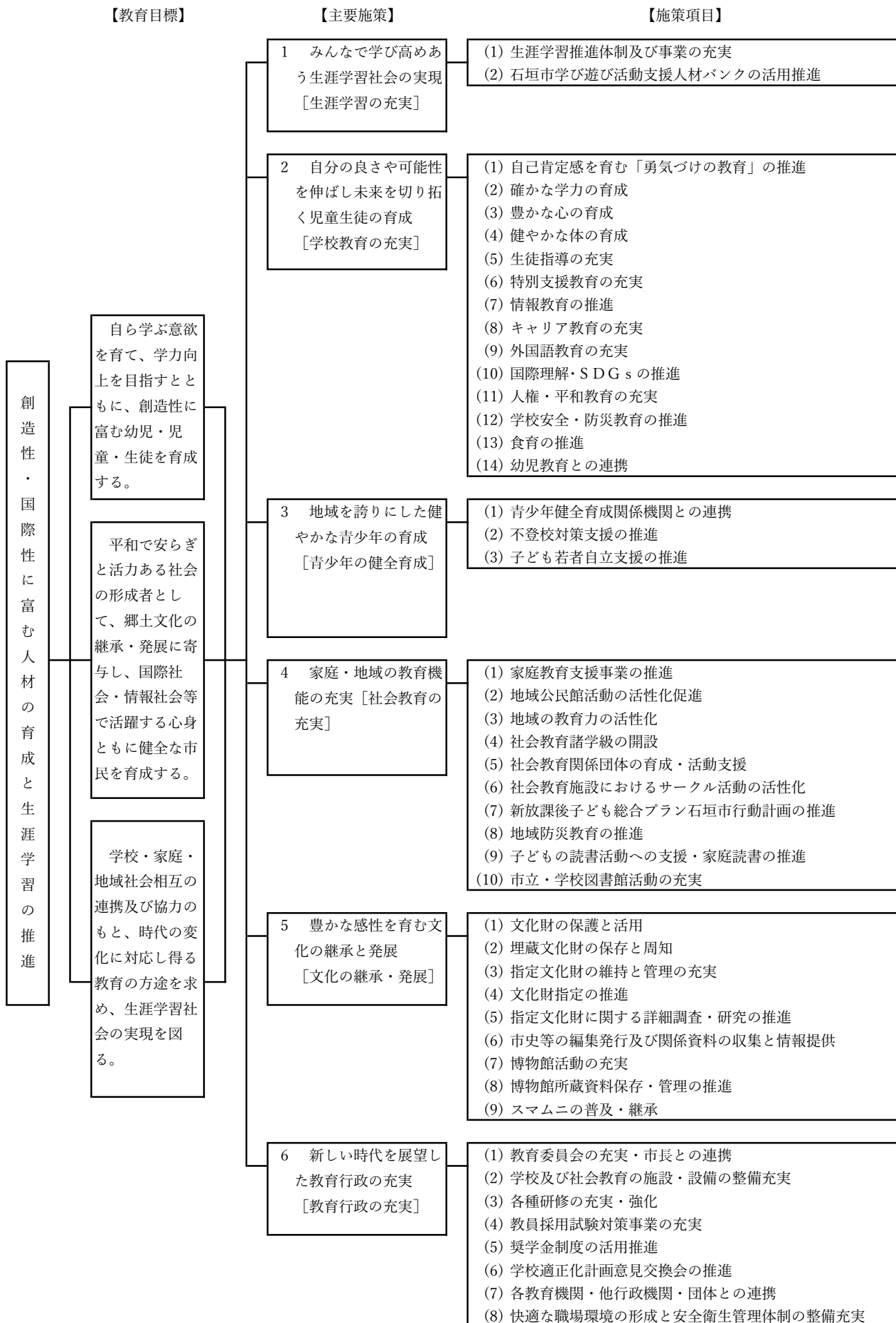
集作業に時間を要しているが、発刊を待ち望んでいる市民も多いと思うので、早期発刊に向けて取り組んでもらいたい。

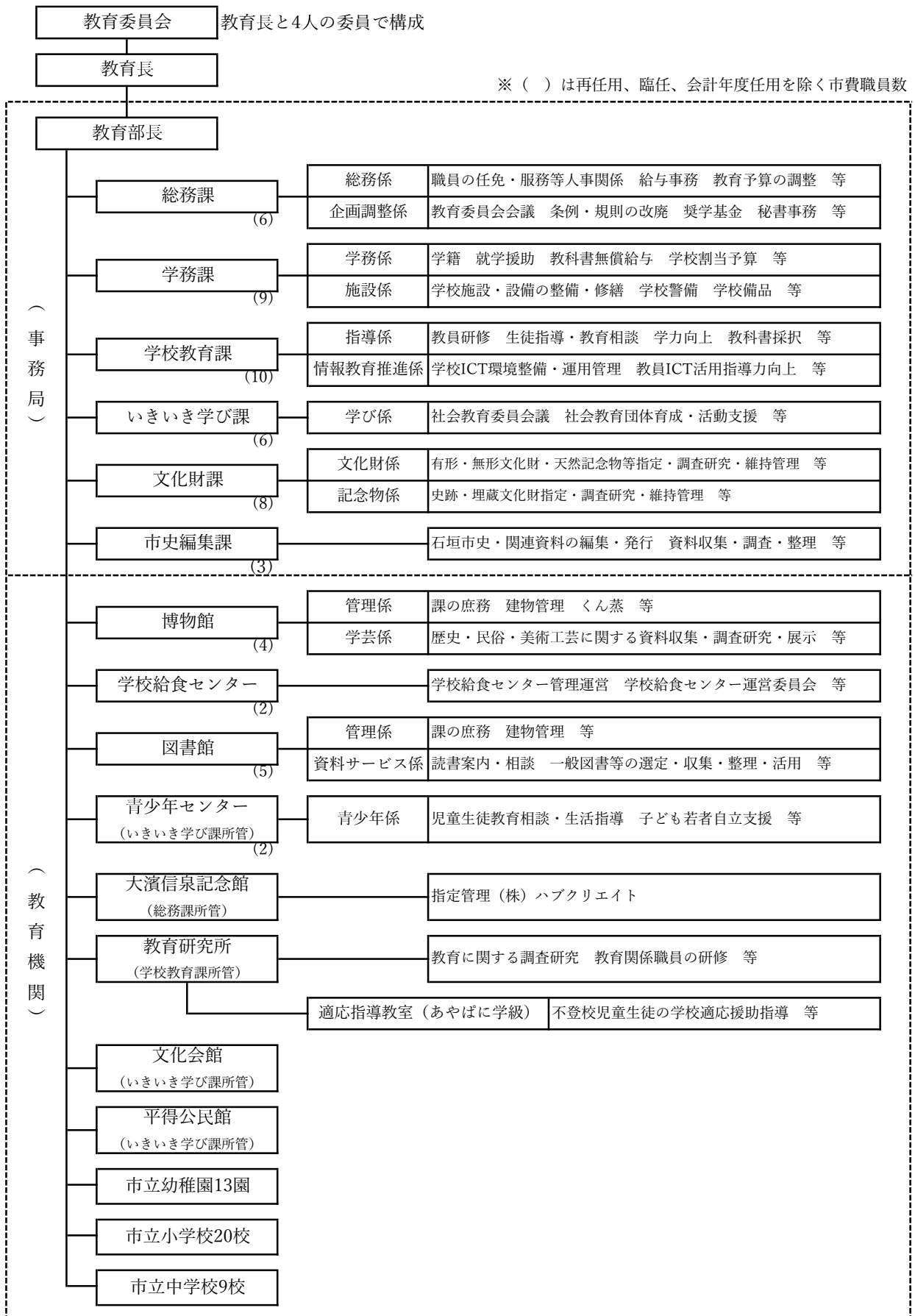
その他の事業においても、成果目標の達成に向けて、各事業が適正に執行されていた。法改正や想定外のことにより、当初の計画より遅れたものもあったが、関係職員の対応によりほぼ計画通りに進められている。しかし、事業の遅れは、財政面だけでなく、他方面に影響を及ぼすおそれもあることから、是非、この後の事業については、遅滞なく進めて頂きたい。

今回の外部評価を通して、本市の教育目標である「創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の推進」に向けて、様々な事業が展開されていることを知った。その取り組みは、前例踏襲や例年通りではなく、新たな施策や課題解決に向けて工夫改善がなされていることに教育委員会の前向きな姿勢を感じた。この職員の姿が、石垣市の教育行政を支えていると思われる。

各事業の先には、児童生徒の健全育成や市民サービス及び市民生活の向上がある。今後とも、児童生徒や市民のニーズに寄り添った教育施策を展開することを期待したい。

令和4年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系





## 石垣市教育事務点検評価実施要綱

平成 21 年 1 月 30 日  
教育委員会告示第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

令和5年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(令和4年度事業対象)

---

令和5年11月発行  
石垣市教育委員会  
沖縄県石垣市字真栄里672番地  
TEL 0980-82-2604  
FAX 0980-82-0294

---